

JIA_Kagoshima オープン・レクチャー 2021

国宝の茶室三題と近年の和風建築 建築家 中俣 知大

7/2 [FRI]
18:30-20:00

公益社団法人日本建築家協会鹿児島地域会では、2020年からオープン・レクチャーをはじめました。一般の方々や学生のみなさまの参加を歓迎します。第5回は、建築家が自作を語るレクチャーとして、中俣知大氏が登壇します。中俣知大氏は、横浜国立大学で建築を学び、数寄屋建築をはじめ伝統的な木造建築で著名な石間工務店の設計部門に勤務され、1987年に一級建築士事務所数寄楽舎を設立、地元の鹿児島・川内で設計活動を続けてこられました。国宝の三つの茶室、待庵・如庵・密庵や近年の茶室とご自身のこれまでの作品について語っていただく予定です。終了後、移動して意見交換会を20時半から行いますので希望される方はご参加ください。（今後の新型コロナウィルス感染の状況によりますが、意見交換会は食事ドリンク付き〔会費4,000円〕で開催を検討中。希望者はご連絡下さい。Zoomでの聴講も可能です。）

オープン・レクチャー会場：マークメイザン 鹿児島市名山町9-15（旧ソフトプラザ） 定員45人

コロナ感染対策で、会場の定員を減らして開催しますので、事前にメールで申し込みください。

メール申込先：kagoshima@jia-9.org

主催 公益社団法人 日本建築家協会鹿児島地域会

